

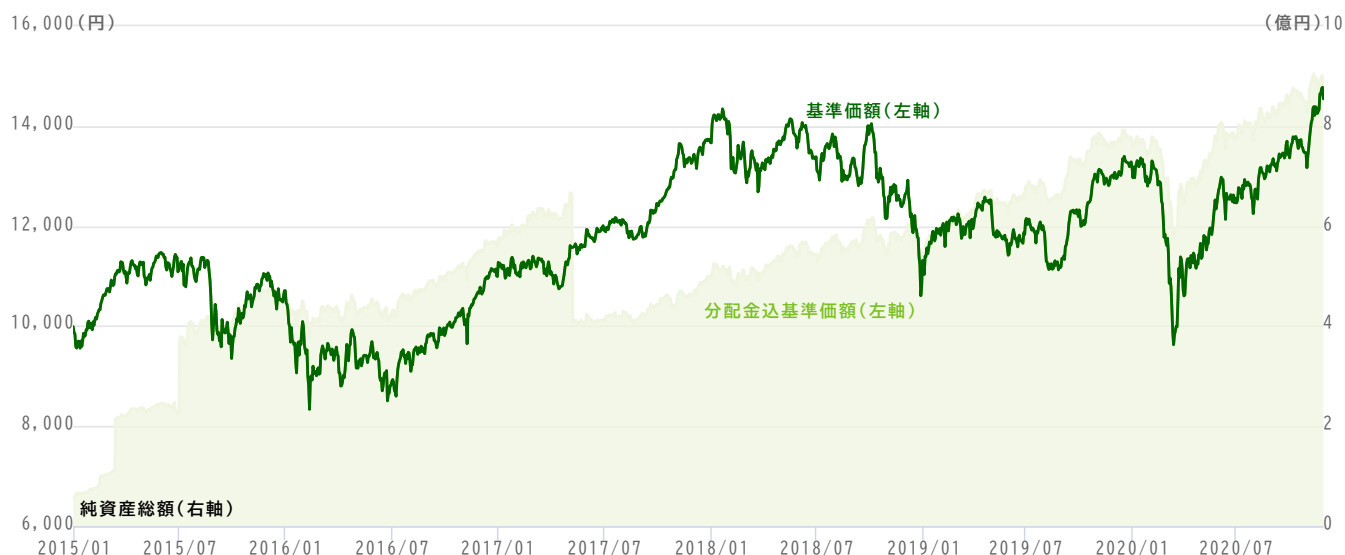
コモンズ30+しずぎんファンド

追加型投信 / 内外 / 株式



基準価額の推移

2014年12月29日 ~ 2020年11月30日



※「分配金込基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。※基準価額の計算において、運用管理费用（信託報酬）は控除しています。※当ファンドの信託報酬率は、ファンドの純資産総額の一定の増加により逓減する仕組みとなっており、当レポート作成基準日現在、年率1.265%（消費税込）です。



運用実績

2020年11月30日時点

基準価額

14,546 円

(前月末比)

+1,376 円 (10.45%)

純資産総額

8.8 億円

(前月末比)

+0.5億円 (7.13%)

騰落率(分配金込)

期間	騰落率
1ヵ月	10.45%
3ヵ月	10.02%
6ヵ月	17.84%
1年	12.24%
3年	8.93%
5年	33.27%
10年	-
設定来	45.46%

分配金 (1万口当たり、税引前)

決算期	分配金
2015年12月	0円
2016年12月	0円
2017年12月	0円
2018年12月	0円
2019年12月	0円
設定来合計	0円

※「基準価額」およびその「前月末比」は分配後です。※「騰落率」は、基準日から過去に遡った期間です。税引前分配金を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。※収益分配金は委託会社が決定します。分配を行わない場合もあります。



ポートフォリオの構成比

種別	比率
コモンズ30ファンドマザー	92.0
静岡銀行株式	7.7
現金等・その他	0.3
構成銘柄数	32社

※2020年11月30日時点



ポートフォリオの状況

業種別比率

機械	19.4%
化学	15.0%
電気機器	13.3%
サービス業	12.5%
輸送用機器	5.8%
陸運業	4.0%
医薬品	3.6%
小売業	3.5%
卸売業	3.4%
食料品	3.2%
金属製品	3.2%
情報・通信業	3.0%
建設業	2.8%
繊維製品	1.2%
その他	5.9%

未来コンセプト別比率

生活ソリューション	17.7%
ウェルネス	14.9%
精密テクノロジー	14.2%
新素材	10.6%
快適空間	9.9%
資源・エネルギー	6.2%
ライフサイクル	6.0%
未来移動体	5.8%
地球開発	5.5%
社会インフラ	3.2%
その他	5.9%

組入上位10銘柄

銘柄	未来コンセプト	銘柄概要	組入比率
1 ヤマトHD	生活ソリューション	「クロネコヤマトの宅急便」で親しまれる宅配便業界のトップ	4.0%
2 東京エレクトロン	精密テクノロジー	創業時のエネルギーが、脈々と続く「革新」を続ける会社	3.8%
3 カカクコム	生活ソリューション	インターネットユーザーに「便利」を届け続ける	3.7%
4 SMC	精密テクノロジー	工場の自動化に不可欠な空気圧機器で世界シェアトップ	3.7%
5 エーザイ	ウェルネス	患者家族まで心を配る徹底したステーキホルダー経営	3.6%
6 信越化学工業	新素材	戦略的なポジショニングに優れ、素材メーカー随一の収益性	3.6%
7 マキタ	快適空間	環境、安全、安心に優れ、世界のプロに選ばれる	3.5%
8 セブン&アイ・HD	生活ソリューション	変化への対応、基本の徹底という企業文化が浸透、さらなる高みを目指す	3.5%
9 ディスコ	精密テクノロジー	kiru, kezuru, migaku、世界を代表する精密加工装置メーカー	3.5%
10 ユニ・チャーム	ライフサイクル	世界企業と切磋琢磨し、空白地帯で成長	3.5%

※2020年11月30日時点

※「ポートフォリオ別構成比」「未来コンセプト別比率」「組入上位銘柄」に関しては、マザーファンドについての記載になります。

※各比率はマザーファンドの純資産総額を100%として計算しております。四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

※その他とは現金等を指します。

◎「未来コンセプト」とは、当ファンドが行っている業種分類です。以下のように10種類に分類を行っております。

「資源・エネルギー」「新素材」「精密テクノロジー」「ウェルネス」「生活ソリューション」「社会インフラ」「未来移動体」「快適空間」「地球開発」「ライフサイクル」



運用状況

◎運用レビュー

11月のファンドの月間リターンは+10.45%の上昇となりました。

◎運用責任者メッセージ（コモンズ30マザーファンドについての記載となります）

11月の内外株式市場は、米国大統領選挙を通過し、新型コロナウイルスのワクチン開発の報道が続いたことで、NYダウを始めS&P 500とナスダック指数が軒並み史上最高値を更新して世界的な株高につながりました。

国内株式市場も、日経平均株価が月間で約3,500円、約15%の上昇となり29年ぶりの高値となる26,000円台に乗りました。まさに記録づくめの1ヵ月となりました。

当ファンドも運用開始以来の最高値を更新し、マザーファンドは月間で+11.05%の上昇、投資先31銘柄中28銘柄が値上がり、3銘柄が値下がりとなりました。同期間のTOPIX（東証株価指数；配当込）は+11.14%、日経平均株価は+15.04%の上昇でした。年初来では、当ファンドが+13.45%、TOPIX+4.30%、日経平均株価+11.74%です。

当ファンドの株式組入比率は、高値圏での一部現金化などからやや低下し94.1%となっています。個別銘柄では8月から組入を開始したエムスリーが30%を超える上昇、他に東京エレクトロン、信越化学工業、ダイキン工業、東レ（上昇率順）が20%を超える上昇となりました。上場来高値を更新した銘柄もエムスリーはじめ9銘柄となりました。

新しい銘柄も加わった当ファンドにどうぞご期待ください。

*当レポートからの開示となりますエムスリーの組入理由につきましては、「今月のピック！」での解説を是非、ご参照ください。

最高運用責任者 伊井 哲朗

投資委員会メンバー

○伊井哲朗、渋澤健、上野武昭、末山仁、原嶋亮介/○は最高運用責任者

組入比率と組入銘柄については、マザーファンドについての記載となります。



新規組入投資先

8月に組入をおこなった「エムスリー」開示いたしました。
組入理由につきましては「今月のピック！」をご参照ください。



今月のピック！

◎ (2413) エムスリー＜新規組入投資先＞

エムスリーの組入れを開始しました。

エムスリーは医療従事者向け情報サイトを中心に製薬会社の情報提供を支援するほか、治験の支援、医療従事者向け転職支援、医療機関向け経営支援などの事業を手掛けています。

国内では医師の9割近くが同社の会員となっています。また、中国の会員数は300万人を超え、医師の2/3以上をカバーしています。全世界でも医師1200万人のうち半数近くが会員となっていて、競争力の源泉となる強固な顧客基盤をグローバルで有しています。

ミッションは、「インターネットを活用し、健康で楽しく長生きする人を一人でも増やし、 unnecessary 医療コストを一元でも減らすこと」です。

社名の M3 は、Medicine (医療)、Media (メディア)、Metamorphosis (変革) を指し、インターネットというメディアの力を活かして、医療の世界を変えていくことが、同社設立の志となっています。また、「新しい価値を医療界に提供し続ける」をモットーに、①医療界の課題や問題点を解決、②人真似できない、ユニークなモデルを提供、③高い付加価値を創出できる (高利益) 分野に特化、骨太の価値創造を目指します。

成長ポテンシャルを現在の企業規模の10倍以上と想定し、M&Aも含めて積極的な先行投資を継続することでそれを実現していく方針としています。

業績面では、2021年3月期第2四半期決算の売上収益は750億円で前年同期比+21.9%、営業利益は239億円で同+44.6%と大幅な増収増益となりました。新型コロナウイルス感染拡大により、製薬会社の急速なDX構造変化や、海外で中国等のアジア地域が大きく成長したことなどが増収増益の主な背景です。

シニア・アナリスト 末山 仁

◎ (6988) 日東電工

日東電工の2021年3月期第2四半期決算は、売上高こそ前年同期比5.4%減であったものの営業利益は同3.1%増と、新型コロナウイルス感染拡大による経済への影響に苦しむ企業が多い中では相対的に順調であると言えます。

ノートPCやタブレットPCのディスプレイで用いられる偏光板が、リモートワークの浸透による需要増加により好調を持続しているほか、これまでハードディスクドライブ (HDD) 用途で用いられていたプリント回路の技術を活かした高精度基板の、スマートフォン用途での展開も始まっています。

新型コロナウイルスがもたらした社会の変化に対して、既存事業を「無 (戻らない需要)」「減 (戻る需要)」「代 (伸びる需要)」に切り分けたうえでスピード感を持って経営リソースの再配分を進めていることなどから、「変化への対応力」という同社の強さは健在であることを改めて確認することができます。

アナリスト 原嶋 亮介

◎ (1963) 日揮HD

欧州などで温暖化ガス排出を実質ゼロにするカーボンニュートラルを目標にする動きが広がっています。日本政府も2050年の実現を表明。カーボンニュートラルを達成するためには、いくつかの革新的な技術の組み合わせが必要になってきますが、選択肢の一つである、CCS (Carbon dioxide Capture and Storage) という二酸化炭素 (CO₂) を回収して地中に埋め大気中への排出を減らす技術が注目されています。

日揮HDは、この技術において、世界的な有力プレーヤーです。海外では、欧州メジャーオイルとアルジェリアでCCS設備併設の天然ガス処理プラントの設計・建設を手がけました (2004年完工)。

原料ガスに含まれるCO₂の大気放出を防ぐため、地下約2000メートルのガス層と同じ地層にCO₂を圧入・貯留する役務でした。当時としては先駆的な取り組みであり、年間約100万トンのCO₂を地中に圧入・貯留しています。

国内では、大崎クールジェンプロジェクト (広島県) に参画し、昨年の段階でCO₂回収の工事は終えています。同プロジェクトは、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO) 助成事業で、究極の高効率発電技術といわれる石炭ガス化燃料電池複合発電とCO₂分離回収技術を組み合わせた「革新的低炭素石炭火力発電」の実現を目指して計画されました。

シニア・アナリスト 上野 武昭



企業との対話

【コモンズ30塾 統合レポートワークショップ コモンズ30ファンド投資先企業エーザイをお迎えして】

11月30日、コモンズ30ファンド投資先企業エーザイさまにご協力いただき、統合レポートワークショップの開催が実現しました。統合レポートワークショップとしては初めてオンラインで開催し、ご参加の皆さま同士のグループワークなども行いました。

今回エーザイさまにご登壇いただいたのは、本統合レポートの中で「非財務資本の見える化」に取り組まれ、まさに、コモンズ30ファンドの「見えない価値（＝数値化できない価値）の見える化」を実践されているからです。

今回、セミナーにご登壇いただいたのはIR部 アソシエートディレクター 小山さま。研究員として乳がん治療薬の開発などに携わられた経験もお持ちでいらっしゃいます。

まず、小山さまから

- 1.エーザイの経営戦略
 - 2.ESGという観点からの企業価値向上の取組
 - 3.統合報告書2020のポイント
- という流れでお話をいただきました。



エーザイと言えば、「患者様と生活者の皆様の喜怒哀楽を考えそのベネフィット向上に貢献すること」を企業理念に定め、この企業理念をもとにヒューマンヘルスケア（hhc）企業を目指す、とした内容を定款に定めた企業として有名です。

この理念の基、すべての社員が、就業時間の1%を患者と過ごすことを推奨しており、これをhhc活動と呼んで最も大事な活動と位置付けています。こうした活動内容についても具体的にご紹介をいただきました。

このhhcという理念が企業価値向上のベースにもなっており、前述のhhc活動、人材育成につなげており、その結果、エーザイ社員の会社へのエンゲージメントは全業界平均を上回るそうです。

また、貧困や社会システムの不整備が理由で医薬品が届かないという問題も積極的に取り組んでいます。具体的にはリンパ系フィラリア症という病気の治療薬をWHOを通じて途上国に無償提供。こうした事業も慈善事業ではなくhhc理念に基づく事業であり長期投資という位置づけで行っているそうです。さらには社会的責任遂行の一環として、医薬品の研究や開発、生産～廃棄に至るまでの工程における環境負荷の低減に取組み、低炭素社会の実現にも積極的に関わられています。

そして今回の統合報告書2020では、日本企業として初めて、ESGの価値の見える化の実証研究を行っています。

言い換えると、ESGを経営戦略として企業価値向上につなげる意思を伝える目的に、ESGへの取組が企業価値に関係している、という相関を検証したのです。

それを、ESGのKPI（重要業績評価指標）とPBR（株価純資産倍率）の相関で検証しています。

例えば、「人件費の投入を1割増やすと5年後のPBRが13.8%向上する」「女性管理職比率を1割改善すると7年後のPBRが2.4%上がる」といったものです。これらをまとめると、ESGのKPIが5-10年後の企業価値にして500億円～3,000億円レベルで創造することを示唆している、というお話をいただきました。

これはまさにコモンズ30ファンドの投資選定の基準としている「5つの軸（＝収益力、競争力、経営力、対話力、企業文化）」のうち、見えない価値（＝非財務情報）についての見える化、に取り組まれた一例と言えるでしょう。

参加者からも

「企業理念のご説明があったので、その他の取組み（非財務の可視化など）をなぜ行っているかといったところに腹落ちできた。」

「統合報告書に記載の図やグラフをもとに、解説して下さったため、紙面で使われている意図や背景がより良く理解できたと思います。」といったお声をいただくことができました。

マーケティング部 福本 美帆



ちょっといい話

【危機を機会に変える企業】

皆さん、こんにちは

私たち人類の新型コロナウイルスとの格闘も1年近くに及んでいます。日本国内では、第三波とも言われる感染拡大も見られますが、一方、世界ではワクチン開発も進展し、希望も見えてきました。

私たちの生活や働き方にも変化が起りましたが、企業もこの一年間、ビジネスを通じてお客さま、社員、社会とのかかわりを模索しています。

そこで、この度、コロナ禍において企業はどのような対応、取り組みをしているのか、また、**コモンズ投信の運用チームは何を考え、どんな視点で企業の調査や分析をして運用に活かしているのかを、「特別レポート～コモンズ投信の視点～」**としてご紹介させていただくことにしました。

今回の特別レポートでは、危機時における企業の対応を調査・分析することで得た学びの一部をご紹介しますことで、当社の運用哲学や投資の意思決定につながる要素を少しでもお伝えしたいとの想いで発行させていただきました。

人も企業も同じですが、取り巻く環境がよく順調に成果が出ているときには、なかなか本当の実力が分かりません。

「**疾風に勁草を知る（シップウニケイソウヲシル）**」ということわざがあります。

激しい風が吹いてはじめて丈夫な草が見分けられる。苦難にあってはじめて、その人の節操の堅さや意志の強さがわかるということですが、企業も同じです。

その意味では、このコロナ禍での各企業の対応を積極的に調査、分析することは、とても多くの学びがありました。

コモンズ30マザーファンドは、運用開始から12年目を迎え、10年以上投資を続けている企業も多数ありますが、それでも今回のコロナ禍での新たな発見も少なくありませんでした。

危機を機会と捉えて新しい価値創造に取り組む企業、また、会社の体質をより筋肉質にモデルチェンジし始めた企業など、是非、下記からご確認ください。

https://www.common30.jp/files/uploads/202012/specialreport_202012.pdf

当ファンドからは、エムスリー、セブン&アイHD、楽天、資生堂、ダイキン工業、シスメックス、ヤマトHD（以上銘柄コード順）を取り上げています。

引き続き、当ファンドにご期待ください。

代表取締役社長兼最高運用責任者 伊井 哲朗





販売会社一覧

販売会社名称	登録番号等		日本証券 業 協会	一般社団法人 金融先物取引業 協会	一般社団法人 日本投資顧問業 協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
株式会社静岡銀行	登録金融機関	東海財務局長 (登金) 第5号	○	○		
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第165号	○	○	○	
静銀ティーム証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長 (金商) 第10号	○			



投資リスク

基準価額の変動要因

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま（受益者）の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま（受益者）に帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。

お客さま（受益者）には、当ファンドの内容・リスクを十分にご理解のうえ、ご投資の判断をしていただくよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、下記のリスクはすべてのリスクを網羅しているわけではありませんので、ご注意ください。

基準価額の変動要因となる主なリスク

株価変動リスク	当ファンドは実質的に国内外の株式を組入れるため、株価変動の影響を大きく受けます。一般に株式の価格は、個々の企業の活動や業績、国内および国外の経済・政治情勢などの影響を受け変動します。株式の価格が下落した場合には基準価額は下落し、投資元本を割込むことがあります。
流動性リスク	有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引が行えない、または取引が不可能となる場合が生じることを流動性リスクといいます。この流動性リスクの存在により、組入銘柄を期待する価格で売却あるいは取得できない可能性があり、この場合、不測の損失を被るリスクがあります。
為替変動およびカントリーリスク	外貨建資産を組入れた場合、当該通貨と円との為替変動の影響を受け、損失を生ずることがあります。また、当該国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、当ファンドの基準価額が大きく変動するリスクがあります。



その他の留意点

収益分配金は、預貯金の利息とは異なります。収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。収益分配の支払いは、信託財産から行われます。従って純資産額の減少、基準価額の下落要因になります。



ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	販売会社が、別途定める購入申込手数料を申し受ける場合があります。なお、販売会社における購入申込手数料率は3.3%（消費税込）が上限となっております。
換金手数料	ありません。
運用管理費用（信託報酬）	ファンドの純資産総額に年1.265%（消費税込）を上限とした率を乗じて得た額とします。信託報酬は、純資産総額の一定の増加により逓減する仕組みになっています。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用・手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として、純資産総額に対して年0.11%（消費税込）を上限として投資信託財産より控除されます。上記の手数料（費用）等の合計額については、運用状況、保有機関等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。



お申込みメモ

その他

商品分類	追加型投信/内外/株式
信託設定日	2014年12月29日
信託期間	無期限（ただし、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には信託期間の途中で信託を終了させることがあります。）
決算日	原則として毎年12月18日（休業日のときは、翌営業日を決算日とします。）
分配方針等	毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。当ファンドは分配金再投資専用です。よって、分配金は税金が差引かれた後、自動的に再投資されます。なお、収益の分配に充てなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。
購入単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問合せください。
購入価額	購入申込日の翌営業日の基準価額
換金単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問合せください。
換金価額	換金申込日の翌営業日の基準価額
換金代金の支払い開始日	換金申込日から起算して5営業日
申込締切時間	購入・換金ともに原則毎営業日の午後3時までです。午後3時を過ぎてのお申込みは、翌営業日のお申込みとして取扱います。



ご注意事項

- ・本資料は、コモンズ投信が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものです。
- ・このレポートは、信頼性が高いと判断された情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通し等は作成日時点のものであり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。
- ・投資信託の取得を希望される方は、コモンズ投信または委託会社が指定した販売会社でお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）を必ずご確認くださいのうえ、ご自身の判断でお申し込みください。



関係法人

委託会社

コモンズ投信株式会社
〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-5 平河町Kビル5階

- ・金融商品取引業者
- ・関東財務局長（金商）第2061号
- ・加入協会 一般社団法人投資信託協会

お問い合わせ先

■コールセンター（受付時間／平日 午前10時～午後4時）03-3221-8730

■ウェブサイト <https://www.common30.jp/>